

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年11月14日(2013.11.14)

【公開番号】特開2013-94359(P2013-94359A)

【公開日】平成25年5月20日(2013.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2013-025

【出願番号】特願2011-238842(P2011-238842)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月30日(2013.9.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

主として遊技の進行に関する制御を行う主制御装置と、

主制御装置から送信される情報に基づいて、主として演出に関する制御を行う副制御装置と、を備え、

副制御装置は、

主制御装置から送信される情報に基づいて、演出内容を決定可能なメイン制御部と、  
メイン制御部から送信される情報に基づいて、メイン制御部で決定された演出内容を実行させるサブ制御部と、を備え、

メイン制御部は、演出の表示を行うための第一の情報、及び、音声の出力を行うための第二の情報をサブ制御部に送信するように形成され、

サブ制御部は、前記第一の情報を一時的に保存する第一の記憶領域と、前記第二の情報を一時的に保存する第二の記憶領域とを備え、前記第一の情報は前記第一の記憶領域に保存し、前記第二の情報は前記第二の記憶領域に保存するように形成され、

遊技機の電源が投入された場合、メイン制御部は、サブ制御部にリセット信号を送信し、サブ制御部は、前記リセット信号を受信したときは前記第一の記憶領域及び前記第二の記憶領域をクリアし、サブ制御部の処理状態により当該サブ制御部が、前記第一の情報に基づく演出を実行させることができない場合には、メイン制御部は前記第二の情報をサブ制御部に送信することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

下記の発明は、上記した各目的を達成するためになされたものであり、各発明の特徴点を図面に示した発明の実施の形態を用いて、以下に説明する。

なお、符号は、発明の実施の形態において用いた符号を示し、本発明の技術的範囲を限

定するものではない。

(請求項 1 の発明)

請求項 1 の発明は、主として遊技の進行に関する制御を行う主制御装置101と、主制御装置101から送信される情報に基づいて、主として演出に関する制御を行う副制御装置102と、を備え、副制御装置102は、主制御装置101から送信される情報に基づいて、演出内容を決定可能なメイン制御部102Aと、メイン制御部102Aから送信される情報に基づいて、メイン制御部102Aは、演出の表示を行うための第一の情報（例えば、画像制御コマンド）、及び、音声の出力を行うための第二の情報（例えば、サウンド制御コマンド）をサブ制御部102Bに送信するように形成され、サブ制御部102Bは、前記第一の情報を一時的に保存する第一の記憶領域（例えば、画像系コマンドバッファ）と、前記第二の情報を一時的に保存する第二の記憶領域（例えば、サウンド系コマンドバッファ）とを備え、前記第一の情報は前記第一の記憶領域に保存し、前記第二の情報は前記第二の記憶領域に保存するように形成され、遊技機の電源が投入された場合、メイン制御部102Aは、サブ制御部102Bにリセット信号を送信し、サブ制御部102Bは、前記リセット信号を受信したときは前記第一の記憶領域及び前記第二の記憶領域をクリアし、サブ制御部102Bの処理状態により当該サブ制御部102Bが、前記第一の情報に基づく演出を実行させることができない場合には、メイン制御部102Aは前記第二の情報をサブ制御部102Bに送信することを特徴とする。

(第 1 の発明)

第 1 の発明は、主として遊技の進行に関する制御を行う主制御装置101と、主制御装置101から送信される情報に基づいて、主として報知に関する制御を行う副制御装置102と、所定の報知を行う報知手段（スピーカ54、液晶表示装置53）と、遊技機の各種状態を検出する検出手段と、を備え、主制御装置101は、検出手段の検出結果に基づいて、遊技機の状態を監視する状態監視手段170を備え、副制御装置102は、主制御装置101から送信される情報に基づいて、報知内容を決定可能なメイン制御部102Aと、メイン制御部102Aから送信される情報に基づいて、メイン制御部102Aで決定された報知内容を報知手段に実行させるサブ制御部102Bと、を備え、状態監視手段170が監視可能な遊技機の状態として、遊技機の装置の異常が検知されている異常状態が設定されており、複数段階の設定値に対応した出玉率が予め定められているとともに、少なくとも電源の切断及び投入を含む所定の操作が行われることに基づいて、遊技機を、遊技を進行可能な状態である遊技進行可能状態、及び、予め定められた前記設定値のうちいずれか一の設定値を設定可能な状態である設定値設定可能状態との間で切り替え可能に形成された遊技機であって、電源が切断された状態である電源断によって記憶内容が消去されないように形成された異常状態記憶手段172を備え、設定値設定可能状態において異常状態が発生した場合には、異常状態記憶手段172に当該異常状態が発生した旨を記憶し、設定値設定可能状態から遊技進行可能状態に切り替わったときに、異常状態記憶手段172に異常状態が発生した旨が記憶されている場合には、記憶されている異常状態に対応する報知を報知手段に実行させるように形成されていることを特徴とする。